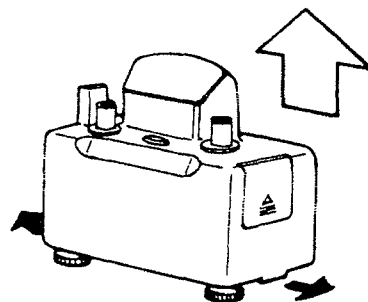


上皿天秤 I 型の取扱い方法

■開梱の方法

ケースを図-1のようにして上方に取りはずし、内部の荷作り用のゴム(5個所)と紙(2個所)を取りのぞき、天秤の各機構が自由に作動するようにしてください。

図-1

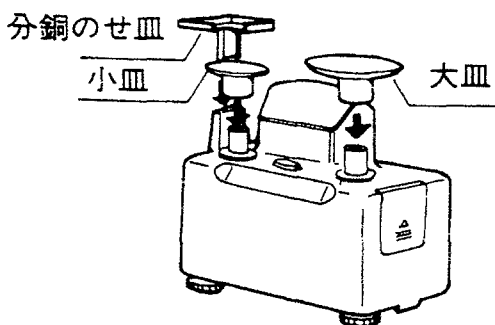


左右にある突起部をひろげつつ持ち上げてください。

■組立ての方法

ケースを上からかぶせ、きっちり装着してください。次に向って右側に大きいのせ皿を、左側に小さいのせ皿を差し込みます。分銅のせ皿は上から差し込んでください。(図-2)

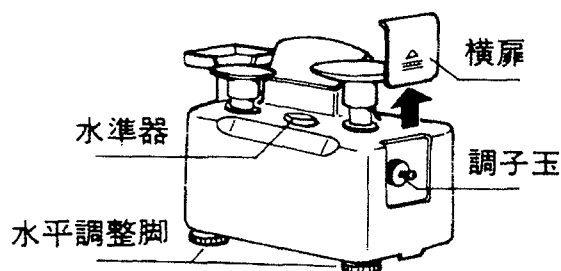
図-2



■調整の方法

ハカリが水平に設置されないと、計量誤差が出ますので水準器の気泡が必ず中央にくるように、水平調整脚で調整し、次に横扉を開け「調子玉」によって指針が「0」をさすように調整してください。(図-3)

図-3



■ご使用の方法

計量物の質量が目盛板の指示範囲以下の場合は、指針のさす目盛がその質量です。
計量物の質量が目盛板の指示範囲以上の場合は、相応の質量の分銅を左側の皿にのせ、指針のさす目盛と分銅の質量の合計が計量物の質量です。たとえば秤量100gの天秤ですと指示範囲の5g以上のものは、のせた分銅と目盛指示量を合計してください。

■風袋を使用した時の零点調整方法

大きいのせ皿に日常ご使用になる薬包紙1枚をのせて、横扉から「調子玉」(図-3)によって「0」に調整します。薬包紙を除けば指針は「0」より左方によりますが、薬包紙をのせれば「0」をさすように調整してください。